



**JR西労組中央本部青年女性委員会 第27回定期委員会**

**「制度の壁」に続き、「風土の壁」を乗り越えよう**  
**「伝える力」と「聴く力」で組織に活力を**

**「JR西労組で良い」ではなく**

**「JR西労組が良い」とみんなが思う組織に**

**一人一役・全員主役!**

平成29年10月13日(金)、14日(土)、神戸ポートピアホテルに於いて、JR西労組中央本部青年女性委員会第27回定期委員会が開催された。会場には、鈴木大介JR連合青年女性委員会事務局長をはじめ、多数の来賓を迎え、常任委員19名、委員85名が集結した。

冒頭、新倉青年女性委員長が挨拶。その中で今年7月の青女組合員の脱退は、組織として一歩後退である。しかし、その反省を生かし、「JR西労組が良い」とみんなが思う組織づくりに向け、2歩、3歩前進しよう。と力説した。また、事故を経験していない青女が安全態度を高め、声を挙げ続けることの大切さを訴えた。鈴木大介JR連合青年女性委員会事務局長らの来賓挨拶に続き、荻山市朗JR西労組中央本部執行委員長が、参加の青年女性委員を激励した。その後、活動経過報告、活動方針案の提起が行われ、1日目が終了。2日目は、全体質疑が行われ、各地本や職場を代表して19名の委員から、「安全」「青女活動」「組織」「女性の働き方」など38項目について、活発な質疑がなされた。その後、活動方針など、満場一致で採択され、新体制が発足した。最後に、再任された新倉青年女性委員長の閉会挨拶が行われた。

**間接部門の若手組合員に細やかなケアを**

●総合職、特に間接部門の組合意識が低い。多くの総合職若手組合員は、入社後すぐに、各支社へ配属され、組合活動に接する機会のないまま、本社へ異動する。地本として育てるメリットが少なく、このような課題を打破するため、中央本部をはじめ、各地本の協力をいただき、各地本における総合職組合員の積極的組合活動への参加・参画をお願いする。

**ワークライフ・ユニオン・バランスの改革も**

●分会青女の組織を立ち上げるために、具体的にプランはあるのか。  
 ●新入社員が約半分になり、契約社員から正社員へ登用が増えている。神戸地本は、青女の資格について、年齢の

引き上げ、「入社10年目まで」などの提案をしてきた。神戸地本の川原委員長が言う「青女は宝だ」との通り、素晴らしい組織を経験する機会を創出して欲しい。「社員登用されてから3年間」を有資格にできないか。  
 ●JR西労組の約3割が青女組合員である。なのに、中央本部には専従が青女委員長1名である。この割合でなぜ専従が1名なのか。  
 ●新倉委員長は、選挙運動への参加など、東奔西走の忙しい中、ワークライフ・ユニオン・バランスを改革している。今、ワークライフ・ユニオン・

**新幹線乗務員への直接登用の検討を!**

●新幹線乗務員の採用が最短でも4年、新幹線乗務員で8年が必要である。乗務員の採用も厳しく、ほとんどが30歳を超えて登用される。  
 ●博多支社の青女組合員も、正社員9名、契約社員7名である。2年後には正社員は30歳を超えてゼロとなり、契約社員のみでの活動となる。客室乗務員制度の維持と、新幹線乗務員への直接登用の検討をお願いする。

**「JR西労組で良い」ではなく、「JR西労組が良い」を目指して**

●若手組合員から、JR西労組に対して「魅力を感じられない」「組合活動は面倒」といった声を聞く。1年前所属の分会長が脱退。分会支部、地本が連携し、迅速に動い

**新入社員組合加入オルグを完遂!**

●9月20日に福知山電車区構内において協力会社社員が死亡するという労災死亡事故が発生。「青女として自分と仲間を守るようにできること」から取り組んでいきたい。  
 ●毎年開催する新入社員を対象とした組合加入オルグに向けて、3月に開催された地本ユニオンスクール「青年女性委員会コース」へ積極的に参加し、しっかりと意思疎通を図る事ができた  
 ●と実感してい

**青女のためのガイダンスの作成を**

●「労働組合の原点は分会活動」とあるが人数が少ない支部・分会の青女は親組織に付帯して活動するだけに終始してしまう。使い勝手のいい「分会活動のすすめ」のようなガイダンスの作成をお願いする。  
 ●「交通政策をすすめる会」への加入率にバラつきがある。理解促進と加入活動の取り組み内容を教えていただきたい。  
 ●機関紙コンクルの最優秀賞等の賞について、何が良かったかを記載し、「見える化」をお願いしたい。

**「選挙に行こう」としか伝える言葉がない**

●もし、JR西労組を脱退する若手組合員が出てきた場合、どのようなアプローチを取るべきなのか。フォロワーの仕方や初動について本部の意見を聞かせていただきたい。  
 ●民進党が分裂。政治不信にあえぐ世の中と同様、我々若

**無関心という現状に危惧**

●金沢地本の青女組合員がJR西労組を脱退。西労に加入する事象が発生。重く受け止めている。反面「そのようなことがあったのか」「全く知らなかった」という声があり、この無関心という現状に危惧を抱いている。  
 ●今後、地本として、世話役活動を強化するとともに、他労組についての学習会を行うなど、組合についてもっと知る機会を設けるような取り組みへの協力をお願いする。  
 ●「交通政策をすすめる会」への加入率にバラつきがある。理解促進と加入活動の取り組み内容を教えていただきたい。

**青女委員会の目指すべき姿を議論する必要がある**

●青女組合員が西労に加入する事象が頻りに発生している。退退の理由の一つとして、魅力を感じないということがあげられる。今だからこそ、青女が主催して、組織についての学習会を開催する必要があるのではないのか。  
 ●青女のスローガンに「一人一役全員主役」とある。JR西労組の将来は間違いなく、我々の世代にかかっている。だからこそ、基本組織を含め全体で、青女の目指すべき姿と展望を議論する必要がある。

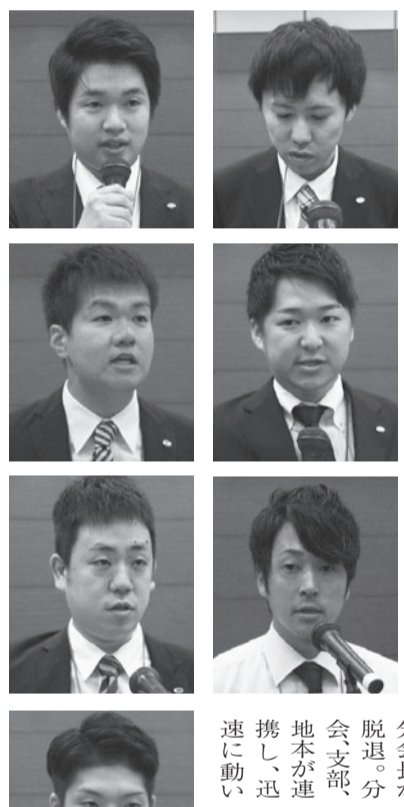
**クレペリン検査の再受験を!**

●来年度より、本部青女のフォラムなどの活動が大きく変わる。誰でも参加しやすい青女活動をお願いする。  
 ●現行、3年に1度更新の際にクレペリン検査がある。不合格になると再度検査することができなくなる。数年後に再度受験できるようにしていただきたい。  
 ●支所は本区と和歌山にある新在家派出所があるが、新在家派出所に異動となるとエリア手当が下がる。同率の10%にしていただきたい。

**指令所組合員との意見交換会に参加対象でない地本はどうなる?**

●活動方針案に、指令所組合員との意見交換会の開催とあるが、参加地本は京都・大阪・和歌山・神戸・福知山となっていない。対象となっていない地本について、本部はどのように考えているのか。

我々に今必要なことは、JR西労組の魅力を知り、伝えることである。脱退の理由の一つとして、魅力を感じないということがあげられる。今だからこそ、青女が主催して、組織についての学習会を開催する必要があるのではないのか。  
 ●青女のスローガンに「一人一役全員主役」とある。JR西労組の将来は間違いなく、我々の世代にかかっている。だからこそ、基本組織を含め全体で、青女の目指すべき姿と展望を議論する必要がある。



我々に今必要なことは、JR西労組の魅力を知り、伝えることである。脱退の理由の一つとして、魅力を感じないということがあげられる。今だからこそ、青女が主催して、組織についての学習会を開催する必要があるのではないのか。  
 ●青女のスローガンに「一人一役全員主役」とある。JR西労組の将来は間違いなく、我々の世代にかかっている。だからこそ、基本組織を含め全体で、青女の目指すべき姿と展望を議論する必要がある。